

都立瑞穂農芸高等学校（定時制） グランドデザイン

<p><b>【生徒／学校の現状】</b></p> <p>① 不登校や人間関係でのトラブルを経験したことがあり、自己肯定感が低い。相手の気持ちを理解する、自分の感情をコントロールするなどコミュニケーションの取り方が苦手で、その結果トラブルに発展してしまうこともある。しかし、文化祭や修学旅行などの行事や部活動、日々の授業や HR 等で様々な困難に直面しながらも諦めずにやり切る、時には成功体験も得るなどの経験をする事によって、大きく成長していく生徒が多い。</p> <p>② 基本的な生活習慣が身につけていない。不規則な生活によって遅刻を重ねてしまう、授業中に集中力がもたないという生徒もいる。遅刻指導や面談等で生徒と教員がコミュニケーションを取りながら指導することによって、生活習慣の改善につなげている。</p> <p>③ 基礎学力が身につけていない、学力はあっても学ぶ意欲が低いといった状態で入学する生徒が多い。授業以外の補習、自習スペースでの学習、各種検定取得に向けての学習など様々なアプローチをすることで、生徒の学力向上につなげている。</p>		<p><b>【教育目標】</b></p> <p>校訓「至誠」「勤勉」「創造」をもとに、普通科の生徒も農業を学び、「生命（いのち）に学ぶ学校」としての特徴を発揮し、生命や環境についての学習をとおして「知る」「わかる」「できる」「つかう」のステップで生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、豊かな心をもつ自立した社会人を育成する学校。</p>
<p><b>【予想される社会の変化】</b></p> <p>AI の発展などにより新たな仕事が誕生する一方で高齢化が進み、若者の活躍が求められる時代になる。また、価値観の多様化も進み、高いコミュニケーション能力が求められる。</p>		<p><b>【学校像/学校経営計画】</b></p> <p>「生命（いのち）に学び夢を叶える～Learn about life and realize your dreams」を掲げ、生徒の能力を向上させ、有為な社会の形成者となることを願い、以下の取り組みを進める。</p> <p>(1) 自他の存在を認め、思いやりの心や社会の基本的なルールを身につける。</p> <p>(2) 基本的な学習態度を確立し、自己の特性や能力を伸ばし自信と誇りを持つ。</p> <p>(3) 体験的な活動を通して、望ましい勤労観・職業観を育成し、将来の進路に向けた確かな意欲を持つ。</p> <p>(4) 生命や環境を大切に教育活動を通して、豊かな人間性を育み、健康づくりの推進に努める。</p>
<p><b>【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】</b></p> <p>コミュニケーション能力や基本的な生活習慣、基礎学力を身につけて進んで社会に貢献しようとするとともに、子や孫など「次の世代」の人間を正しく教育することのできる大人</p>		



<p><b>【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力】</b></p> <p>① 互いを尊重しあい適切にコミュニケーションがとれる力</p> <p>② 社会で生活していく上での基本的なマナー・態度</p> <p>③ 進路実現や課題解決に向けて積極的に学習しようとする態度・社会的自立に必要な基礎学力</p>
---

**【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】**

3つの柱	育成すべき資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3	目指すべき生徒の将来像
学びに向かう力、人間性等	豊かな人間性	早寝早起き、学期毎の遅刻が10日以内で登校する、毎日しっかりと帰宅するなど、基本的な生活習慣が身につけている。	挨拶をする、職員室に正しく入室する、掃除をさぼらずしっかりやるなど、学校生活のルールを守ることができる。	物事の優先順位を考える、進行管理をするなど、自分で考えて予定を立て行動することができる。	自分のことだけでなく他者のことも考えて、社会貢献に取り組める人間
	自己肯定感	自分や他者の「良さ」を1ヶ月に1回以上は見つけようとする事ができる。	自分や他者を尊重し、思いやりのある行動ができる。	自信をもって、様々なことに挑戦することができる。	
思考力・判断力・表現力	協働力	自分勝手な行動をせず、他者から指示や約束事に従って適切に行動することに関して注意を受けないようにする。	クラスの仲間とともに協力して与えられた作業をすることができる。	自ら状況判断をし、適切な行動を考えることができる。	
	対話力	他者が話している時は静かに話を聞くことに関して注意を受けないようにする。	自分の意見を伝える、相手の意見を聞くなど、積極的にコミュニケーションを図ろうと努めることができる。	わからないことは質問する、困っている人がいたら助けるなど、状況に応じて適切に他者とコミュニケーションがとれる。	
知識・技能	基礎学力	定期考査の全ての教科で30点以上取ることができる。	定期考査で平均60点以上取ることができる。	進路実現のために、個々に必要な学力を身につける。	
	継続力	高校卒業に向けて、学期毎の欠席が1日以内で登校することができる。	日々の授業や部活動など、与えられた課題に対して継続的に取り組むことができる。	自ら課題を設定し、課題解決のために計画を立て、取り組むことができる。	

